



御影北だより

令和3年度 9月号

神戸市立御影北小学校

<http://www2.kobe-c.ed.jp/mkk-es>



コロナ禍でもたくましく生きる

長かった夏休みも終わり、待ちに待った2学期が始まります。2学期は、学校行事などもたくさん計画されていて、子供たちにとって大きく成長するチャンスです。一人一人がしっかり目標をもって取り組めるようサポートしていきたいです。ただ、緊急事態宣言が発令され、これまで以上にコロナ感染予防に気を配る必要があります。普段通りとはいかないことが多々あるかとは思いますが、職員一同知恵を絞り、工夫して教育活動を継続していきます。子供たちにとって良い2学期になればと考えています。

今学期も、学校目標「すすんでする子・がんばりぬく子・たすけあう子」が当たり前前にできる子供の育成をめざし、様々な活動に取り組んでいきます。

全校生での取組としては、1学期に引き続き、「あいさつ」と「もくもく清掃」に力を入れます。ご家庭でのお声掛けもあり、あいさつ・清掃とも多くの子供たちが積極的にできるようになってきています。引き続き、素敵なあいさつ・丁寧な清掃ができるよう励ましていきたいです。

学習面では、「聞く・話す」に力を入れていきます。しっかり話を聞き、自分の思いを伝えることができる子供たちを育成します。そうすることで、学習指導要領でいわれている「主体的・対話的で深い学び」を実現し、夢中になって学び続ける子供たちを育てていきたいです。

大きな学校行事としては、11月初めに予定している「音楽学習発表会」があります。コロナ禍ですのて、合奏のみとなりますが、今年は指揮者もつけて演奏を行う予定です。心を一つに素敵な音色を奏でる子供たちの姿が今から目に浮かびます。

12月初めには、昨年実施できなかった「スポーツフェスティバル」を平日に実施します。完成した運動場での初めての参観となります。全学年それぞれの発達段階に応じたリレー（走競技）を行います。こちらもちームワークを大切に力いっぱい走る子供たちの姿を見るのが楽しみです。

5年生は、兵庫県北部のハチ高原まで自然学校に行く予定です。昨年同様コロナ禍で、2泊3日と短くなりましたが、普段学校ではできないような体験をたくさんしていきたいです。天候にもよりますが、できる限り、野外で活動する予定です。仲間と共に過ごす2泊3日は、きっといつまでも忘れられない貴重な経験となることでしょう。年度当初9月24日（金）～26日（日）を予定していましたが現在のコロナウィルスの感染状況を考慮し、11月12日（金）～14日（日）に延期し、感染対策をしっかりして実施します。

また、6年生は、10月8日（金）～9日（土）の1泊2日で、広島方面へ修学旅行に出かけます。学校で戦争や平和について学び、現地での活動を通して、原子爆弾や戦争の恐ろしさを実感することで、「平和な社会の担い手」となってくれればと願っています。ただ状況により、延期及び行先変更も考えられます。

自然学校も修学旅行も多くの子供たちにとって、最も楽しみにしている学校行事であると共に、子供たちが大きく成長できるチャンスでもあります。そして、5年生・6年生にとっては、一生に一度しかない大切な時です。是非経験させてあげたい活動です。

これらの活動を実施するにあたり、コロナウイルスについて正しく理解し、子供たちと共にできることをしっかり頑張りたいです。子供たちには、「事前事後の手洗い」を徹底するよう話しています。そして、気をつけないといけないことは、コロナ感染者や濃厚接触者への心無い誹謗中傷です。人権擁護の観点からも、むやみに差別することがないように子供たちには伝えていきます。誰も病気になりたくてかかる人はいません。一番の被害者です。感染者やその家族、近くにいる人を今こそ大切にしていきたいです。

子供たちには、普段から「元気・笑顔・仲間」を大切にするように話しています。コロナ対応のためいろいろな制限がかかる今こそ、学校目標「すすんでする子・がんばりぬく子・たすけあう子」が当たり前前にできるよう、「元気いっぱい・笑顔いっぱい・やさしさいっぱい」で友達や家族や先生、身の回りにいる人々を大切にしてお過ごししてほしいです。

そして、子供たちにとって一度しかないそれぞれの学年の生活をしっかり頑張らせたいです。保護者の皆様・地域の皆様、今後とも、ご支援ご協力よろしくお願いいたします。

校長 長谷川 秀治